

富士市吉原商店街の立体駐車場が8月27日(日)に

「PARKIN' JAMMIN' YOSHIWARA

商店街の立体駐車場が自由に遊べる一日限りの公園に!

本イベントは、駐車場(parking)とジャム(jamming)を

び場)として使いこなし、あらゆるカタチの表現を混ぜ合わせ

(jamming)を、カタチを壊れ、自由な遊びと楽しみ方

で唯一無二の空間を創り上げています。

初年度となる「街は誰のもの?」は、都立吉原農園を作っ

ていく市営「街は誰のもの?」都市を越えて「エディブルシ

ティ」と「ブラジル人のワークライフスタイル」文化人類

学的視点から捉えた「街は誰のもの?」のドキュメンタリー

映画?作品を上映、「街は誰のもの?」上映後は阿部隆

太監督を招いたアフタートークを実施します。そのほか、富士

市在住ブラジル人による出店、会場最上フロア「ダンス

ス教室による発表、DJやジャズライブ、吉原祇園祭の方々

は飛び入り参加大歓迎の宮太鼓と、く

香での賑わい。

PARKIN' JAMMIN' YOSHIWARA

2023.8.27 sun 12:00~20:30

@ほんいちパーキング 5階~屋上
(富士市吉原2丁目11-33)

Instagram



Twitter



HP



出店者一覧、最新情報等のお知らせはコチラ

Movie Line-up

(無料上映)

15:00 - 15:55

都市を耕す エディブルシティ



「空き地で、食べ物を作るんじゃない？」

経済格差の広がる社会状況を背景に、新鮮で安全な食を入手するのが困難な都市を舞台に一部の市民が始めたアスファルトやコンクリートをガーデンに変えて行く活動。それが共感を呼び、世界に大きなうねりを生んでいます。

「食が重要視されないなら市民がその重要性を訴えるだけ」

「(社会の中で) 問題は山積みだけど食なら人々の力で変えられる」

そんな思いから、健康で栄養価の高い食べ物を手に入れるシステムを取り戻そうとさまざまな活動が生まれて行く。そして、一人一人の活動がコミュニティを動かす力となり、社会に変化をもたらす。卓越した草の根運動のプロセスを実感できるドキュメンタリー。

2014年製作 / 56分 / 国

監督：アンドリュウ・ハッセ / 配給：エディブルメディア



阿部航太：静岡県富士市生まれ埼玉県育ち。農村デザイン事務所を経て2018年よりデザイン・文化人類学を指針にフリーランスで活動を開始。近年はグラフィックデザインを軸に、リサーチ、アートプロジェクトなどを行う。

17:30 - 19:10

街は誰のもの？ ※監督アフタートークあり



「存在しなかったんだ。この街に存在しなかったんだ。」

グラフィティロ（グラフィティアーティストの現地での呼称）がつぶやく背景に広がるのは、南米一の大都市サン・パウロ。そこには多様なルーツ、カルチャーが混沌とするブラジル特有の都市の姿があった。東京でグラフィックデザイナーとして活動する阿部航太が、2018-19のブラジル滞在で体感した「街」。そこには歪んだ社会に抗いながら、混沌の波を巧みに乗りこなすグラフィティロ、スクーター、そして街を歩き、座り込み、踊り明かす人々がいた。イリーガルな表現活動から日常生活まで、地続きに営まれるその風景は、私たちが知っている街の姿を痛快に批判しているように思えた。ブラジルの4都市を巡り、路上から投げかけられた一つの問いへの答えを追うストリート・ドキュメンタリー。

2021年製作 / 98分 / 日本

監督・撮影・編集：阿部航太 / 配給：Trash Talk Club



T2AS：大阪在住。大学でグラフィックデザインを学びながら、グラフィックやウォールアートを行っている。

ご来場の皆様へ

当イベントは自分たちの「まち」を自由な遊び場として楽しむ場です。

この場にいる全員が等しく、遊び場をそれぞれの自由と責任のもと楽しみましょう。

また、この遊び場をつくる全ての人たちと今後の継続的な企画実施に向けて当日

は「応援封筒」へのご協力をお願いします。

映画鑑賞希望者は折り畳み椅子等の持ち込み推奨 / 車でご来場の方は周辺駐車場をご利用ください。(ほんいちパーキングは契約者優先) / 雨天決行、荒天中止